

かわさき区の宝物シート

宝物No.	ふじみどおり
6-2	富士見通り

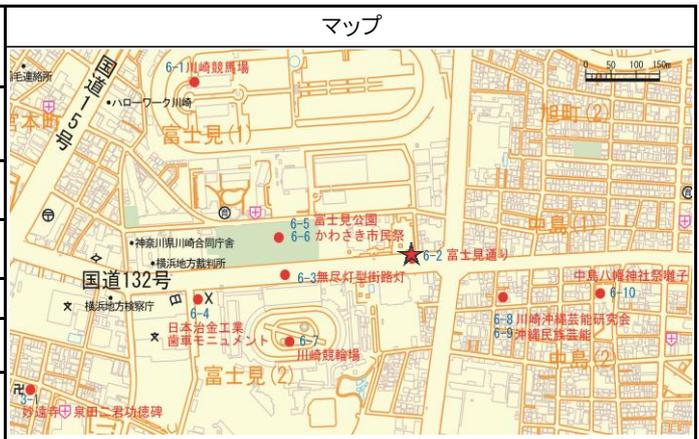
エリア	中央地区	シーズン	通年
	宮前・貝塚～富士見・中島	日時	

目的	<input type="checkbox"/> 観る	<input checked="" type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input checked="" type="checkbox"/> にぎわい
	<input checked="" type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物



所在地	川崎ハローブリッジから塩浜交差点まで
問い合わせ	川崎市建設緑政局道路管理部 管理課 川崎区役所道路公園センター
TEL	044-200-2811 (川崎市) 044-244-3206 (川崎区役所道路公園センター)
FAX	044-200-3979(川崎市) 044-246-4909(川崎区役所道路公園センター)
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅よりバス「競輪場前」下車



基礎情報

- 川崎駅東口のメインストリートで正式名称は「一般国道132号」の一区間。一般国道132号は距離4.5km、夜光2丁目の千鳥橋を起点、国道15号交差点を終点とする。
- 富士見通りの銀杏並木は、季節ごとに美しい色のトンネルをつくり、徒歩や車の通行人の目を楽しませてくれる。新緑の季節には、富士見公園の緑が映え、銀杏並木の緑とともに自然の美しさを醸し出す一帯を形成している。かわさき市民祭りなどイベントの開催時には多くの人でにぎわいをみせる。

由来・エピソード

- 昭和28年(1953)5月に二級国道132号川崎港線として指定され、昭和40年(1965)4月に一般国道132号となった。
- 昭和60年(1985)2月に市制60周年事業の一環として、道路に対する関心を深め道路利用の際の利便を図ることを目的とした「道路愛称制定事業」が行なわれ、市民からの公募によって「富士見通り」という愛称が決定し、公表された。

補足・その他

関連シート

- (1-19)川崎ハローブリッジ
- (6-3)無尽灯型街路灯
- (6-5)富士見公園
- (6-6)かわさき市民祭り